

佛心

二〇一九年六月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺



花祭り：喜びの涙

「雨の降るのも、風が吹くのも、花の咲くのも、葉の散るのも、すべて縁によって生じ、縁によって滅びるものである。」

この身は父母を縁として生まれ、食べ物によって維持され、また、この心も経験と知識とによって育ったものである。

だから、この身も、この心も、縁によって成り立ち、縁によって変わるといわなければならぬ。

(和英聖典八十一頁より)

カレンダーが三月から四月へとページをめくりこの記事を書いたときにはオフィスの前の桜がようやく咲き出しています。皆様がこの記事を読むころにはきっと満開になっていると思います。

四月はお釈迦様の誕生日を祝う花祭法要を勤める月であります。約二千五百年も前に、現在のネパールの南部にあるルンビニ荘園にて誕生されたシッダルタ王子は後に悟りを開きお釈迦様とされます。生まれたばかりの赤ん坊が七歩歩いてて右手を天にさし左手を地にさして「天上天下唯我独尊」と話された伝説は有名であり、以前これに対して書いたこともありますので今回はお釈迦様のお誕生にかかわったもう一つの出来事を紹介させていただきます。

生まれたばかりのシッダルタ王子を祝福するために国中の者が宮殿に集まりました。その中の一人がアシッタという仙人でした。アシッタは可愛い王子様を見た瞬間ぽろぽろ涙を出すようになりました。周りの人たちが何で泣いているのかと尋ねるとアシッタは返事をしました、「わしはうれし涙と共に悲しみの涙をこぼしておるのだ。うれし涙はこの目で将来ブツダとなられる方を拝見することができたから喜びである。でもこの子がブツダとなられるころにはわしはもうこの世にいないので悲しみの涙でもある。もし、この子が王様の後を継いだら温厚でやさしい王様となられるでしょう。しかし、もしこの子が「苦」を体験すれば、おそらく自分の座を去って悟りへの道を求めるようになるだろう」と予言されたそうです。ゆえにシッダルタ王子は王子様を過保護に育てるようになり、シッダルタ王子は29歳になるまで何とか苦しみを避ける人生を過ごされます。しかし、29歳の時に王子は人生の最大の苦しみである「老・病・死」に出会い出家することとなります。

話を戻しますが、アシッタはお釈迦様が悟りを開いたころには自分はずでに亡くなっていると悲しみの涙は私たちにはなくてもいいことなのです。なぜならば、お釈迦様の後に生まれたわれらは今ここでそのみ教えに触れることができるからです。私たちには喜びの涙ばかりです。

ちょうどルンビニ荘園のように満開の桜のもとで4月15日にお釈迦様の誕生日を祝う「花祭り法要」に皆様のお参りをお待ちしております。

合掌

生田真見

6月9日(日) 10AM~

場所：キャンピンググリーンエーカーズ (11123 Kennedy Rd. Markham)

参加費 大人：5ドル 子ども：無料 (12歳以下)

家族や友人と一緒に外で食事をしたり遊んだり、のんびりとした時間を過ごしませんか？ミニゲームやビンゴ大会などもあります。



うらぼんえ (お盆法要)

盂蘭盆会



日程：7月14日(日曜日) ※13日は各お墓参り

時間：初盆法要 (午前9時から)

場所：トロント仏教会 (トロント本願寺)

英語法要 (午前11時から)

1011 Sheppard Ave West North York, ON M3H 2T7

日本語法要 (午後2時から)

長田ブライアン先生はカリフォルニア州ファウラー(フレズノ付近)でお生まれになり、ファウラー寺院に通う中ダラススクールやボーイスカウト、西部仏教青年会にご尽力されていきました。

またミットヨ株式会社で30年間働く中で、アメリカ・カナダにおける仏教伝道協会の取締役として各国の代表的な大学と連携し仏教伝道・仏教教育に携わってきました。

現在ではニューヨークの仏教学習センターやワシントンDCの回向寺のアドバイザーとして活動されており、また京都西本願寺の開教使育成プログラム(IMOP)やアメリカ全土の仏教教育(CBE)のボランティアとしても活動もされています。後にアメリカ全土から仏教に関心のある青年らが集う「テクノブダ」を立案し、現在ではアメリカに留まらず世界各地から若者を中心とした仏教有志者が集まるプロジェクトとなりました。

トロント仏教会では2019年7月14日に長田ブライアン先生を当寺院にお招きし、盂蘭盆会法要をお勤めさせていただきます。どうぞどなた様もご参拝ください。

帰命無量寿如来 南無不可思議光

「限らない命の如来に帰命し、思いはかることのできない光の如来に帰依したてまつる。」

最近、社会の中で、自分だけの秘密の場所を持つ人が増えていくと聞いたことがあります。

そこは、「屋根の排気口の裏側」とか「資料室の横の非常階段の踊り場」とか、要するに普段めつたに人の来ない所に逃げ隠れては、なんとかして自分を保とうとされるのでしょうか。

自分と自分の周りのゴツゴツした関係の中にいる私たちは、自分はどういう立場なのか考え、自分はどう対処すればよいかに追われています。相手のことを考えてじやいるものの、それに対して自分はどうあるべきかが常に問われます。社会では、「自己を確立する」ことが求められ、それにつかれた人たちは「自分を見失っている」と悩み、「もつと自分を大切にしなければ」と忠告されます。そこにあるのは「自分は・・・」「自分は・・・」ばかりです。

確かに「自分」は大切ではあるのですが、かといって、「自分」とはそんなに大したものなのでしょうか？

ここでの「限らない命」(無量寿)や「思いはかることのできない光」(不可思議光)とは、自分を超えた「大いなるもの」「限りないもの」というところから見れば「自分」とは、いくつかの要素がより集まって「たまたま形成されたもの」に他ならず、「自らの分」を受け持っているだけに過ぎないのではないのでしょうか？

にもかかわらず、「自己自身」とか「我」とかにこだわり、それを拠りどころとしているのが私たちです。その「自分」を投げ出して大いなるものに包まれていく、それが「帰命する」「帰依する」ということです。

しかも「大いなるもの」に包まれてみれば、自分の力で自分を投げ出したのではなく、それは、「大いなるもの」からのほたらきかけがあつてこそ成立したことと言わざるを得ないのです。

「大いなるもの」は、人間を超えているわけですから、もともと私の心の内にあつたものではありません。けれども、私の外にはあつても私を離れてあるものではなく、常に私の内にはたらいてくるからこそ「大いなるもの」といえるのであり、私のところに来るものだから「如来」というのです。

『ひらがらな正信偈』森田真円より



浄土真宗 トロント本願寺

2019年 会員申込書

この申請用紙で二名まで同時に申し込みます。

申請人1 継続 () 新規 () Mr. () Mrs. () Ms. ()

氏: _____ 生年月日: 日/月/西暦: _____

名: _____ メールアドレス: _____

住所: _____ 電話番号: _____

市: _____ 署名: _____

州: _____ 郵便番号: _____

申請人は2019年の会員費として \$ _____ を支払うことに同意し、その支払いとして \$ _____ を同封します。未納の前年度会費がある場合は2019年5月31日までに支払います。本申込書の署名により、上記の内容に相違ないことを誓います。

仏心の郵送を希望します。 _____ 英語版のみ _____ 英語日本語版両方 _____

申請人2 継続 () 新規 () Mr. () Mrs. () Ms. ()

氏: _____ 生年月日: 日/月/西暦: _____

名: _____ メールアドレス: _____

住所: _____ 電話番号: _____

市: _____ 署名: _____

州: _____ 郵便番号: _____

申請人は2019年の会員費として \$ _____ を支払うことに同意し、その支払いとして \$ _____ を同封します。未納の前年度会費がある場合は2019年5月31日までに支払います。本申込書の署名により、上記の内容に相違ないことを誓います。

仏心の郵送を希望します。 _____ 英語版のみ _____ 英語日本語版両方 _____

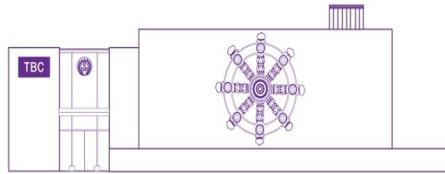
この申請は、**2019年1月1日から2019年12月31日までの会員権のためのものです。2019年の会員費**

は、最低額として**130ドル**としますが、それ以上の額をお納めくださることを歓迎しております。その行為に対して当寺院は深く感謝いたします。

納入された会員費の総額に対して、領収書が発行されます。

会員費の内**80ドル**は浄土真宗カナダ教団 (JSBTC) に支払われます。

会費は、一括、月ごと、または四半期ごとに分割して支払うことができます。会費の支払いにお布施用の封筒を使用しないでください。「会員費として」と明記された無地の封筒に入れてお支払いください。小切手はトロント本願寺にお渡しください。



会員登録
新規／更新

オンライン登録
新規／更新

会員登録のお願い

2018年が過ぎ、また2019年度会員登録のお願いの季節になりました。2018年度の会員登録数は対前年比若干減少しましたが、再度増加基調を目指したいと考えます。現在、まだ会員登録をされていない方がおられますが、言うまでもなくトロント仏教会の未来は会員の皆様のサポートに依存しており、ここに今年度の会員登録と会費のお支払いをお願いするものです。

トロント仏教会は常に会員特典の向上をめざしておりますが、ここにいくつかの特典を列記します。

1. トロント仏教会の運営に関する投票権の取得、例えば総代表および各会リーダーの選出、予算の決裁その他トロント仏教会の将来に関する重要な事項等。
2. “the Jodo Shinshu values of the Temple” の定期購読
3. 現行会員による無料公証業務
4. CAA Premium-level の割引
5. トロント仏教会特別行事への参加費用の免除あるいは一部減免
6. Arbour Alliancesの葬儀代割引

一般会員とは各年1月1日から12月31日まで有効ですが、トロント仏教会の会員として活動するにあたり、年初において速やかな会員登録をお願いします。会員登録と会費（\$130）の受理後、会員カードを送付します。

名誉会員とは77歳以上の方で、2019年度会員登録をされた方、あるいはすでに名誉会員であり毎年名誉会員の継続を表明された方に会員カードを送付します。名誉会員は年会費が免除されますが、ご志納はありがたく拝受させていただきます。